

県政報告

長野県議会議員

百瀬智之

ももせともゆき

Green City No.5

～歩いて楽しめる里山づくり～

- 1983年2月4日生まれ
- 穂高幼稚園卒園
- 山形小学校卒業
- 鉢盛中学校卒業
- 松本深志高校卒業
- 中学校・高校はサッカー部
- 中央大学法学部法律学科卒業
- 上智大学法科大学院修了
- 元学習塾経営
- 衆議院議員を歴任



県政報告
テーマ①

里山は宝の山

コロナ禍によって地方回帰の流れが出てきました。都会で人間同士が密になることを避けるばかりでなく、過度に都市化した日本人の暮らしぶりや生活様式が見直されてきています。仮にコロナ禍が終息していった場合、同時に地方回帰の流れも終わってしまうのか。

私はそれでもまだまだ地方に目が向けられ、特に里山とともに歩むライフスタイルには光が当てられていくと予想しています。山ひとつとっても、私たち住民からするとありふれたもの、取り立てて足を運ぼうとは思わないけど・・・というものであっても、都会の人から見ると「宝の山」です。政策的にも以下のようにもっと磨いていくことができると考えています。

『県政報告』のバックナンバーは
ホームページからご覧いただけます！



県政報告
テーマ②

新・長野県総合5か年計画

長野県では現在、令和5年度～令和9年度を対象とした新たな長期計画を策定中です。こちらでは例えば、有機農業産地づくりの推進（オーガニックビレッジの創出）や、フィールド活動のための森林空間整備、世界水準の山岳高原観光地づくりなどが盛り込まれる予定です。これらは各地でバラバラに展開するよりは、皆さんのいつもの「お気に入りの散歩コース」に集約したいものです。

それは、天気がいい日はつつい出かけたくなるような散歩コース。信州の澄んだ空気と壮大な山々を遠目に見ることができ、足下では多様性あふれる植物に触れることもできる。同時にそこは、かの松尾芭蕉も歩いた、歴史と文化が眠る場所でもある。いまはコース沿いに美味しい野菜・果物が並ぶ有機農園が配置され、徐々に観光客もそのコースを歩くようになっている。・・・もっと目に見えるように、具体化していきましょう。



裏面へ
続く

森林基地ちくほく
北アルプスを眺めるグランピング

#森林セラピー基地 #癒しと楽しみ #木のある暮らし

有機農園さかきた
豊かな土地で、農業に没頭

#農業活性化 #地域コミュニティ #移住促進

善光寺
日本最古の仏像を感じ仏教の魂に触れる

#経済循環 #新たな価値創出 #さらなる聖地化

差切峡温泉ツア
秘境と温泉を楽しむ

#温泉 #観光 #地域資源を活用

歩いて感じる
自由気ままな信州の時間

松本城 善光寺

姨捨の棚田
一畝! 猿ヶ馬場峠から眺める美しい棚田の景色

#聖山の魅力発信 #夏も冬も楽しめる山 #松尾芭蕉

会田宿
歴史ある宿場で新しい食と自然も体験

#宿場再生 #有機野菜 #都会で体験できない価値

青柳宿
青柳城址と酒蔵を目指してハイキング

#地域の空切直し #清長寺・散策路整備 #歩いて健康

麻績宿
文化財とおしゃれなカフェ巡り

#趣のある街並み #豊富な神社仏閣 #街道のメイン拠点

県政報告 テーマ 3

筑北村・麻績村の未来予想図

この度、私は筑北村と麻績村をベースに未来予想図を作成しました。2022年12月の本会議一般質問で私が取り上げたテーマは「善光寺街道の再興と聖地巡礼事業」。善光寺街道という一本の歩く道を政策軸にしなが、都会とは違う、ゆったりとした時間が流れる地域づくりを進めるべきではないか。そのような趣旨で、阿部知事らと議論しています。

上記のビジョンスケッチをご覧ください。松本城から善光寺に至る道のりを、スケッチに落とし込んでみました。注意点としては、これは私が描く未来予想図ですから、現存するものもあれば、現存しないものもあります。現存するものをベースに、「将来こういう地域になったらいいな。長野県として後押しできたらいいな。」というスタンスで描いていますのでご了承ください。

県政報告 テーマ 4 森林基地ちくほく!?

例えばスケッチの左上、「森林基地ちくほく」というものは今は無いですが、林業政策に力を入れている長野県ではいま、林業の裾野を広げようとしています。林業関係者だけでなく住民や観光の方にも森林資源を楽しんでもらえるような取組みを進めています。特に長野県には森林セラピー基地がいくつかあり、そこでは健康増進やリラックスを目的とした包括的なプログラムが提供されています。筑北村・麻績村にも配置してはいかがでしょうか。

また宿場の再生を長野県はもっと力を入れてやっていくべきです。古より人々がそこを通り、衣食住の拠点として成り立ち、歴史と文化が眠る宿場の存在は、いかにも日本らしい、信州らしい場所です。宿場という長野県では奈良井宿や妻籠宿のような、いわばキング級の宿場が有名です。しかし小さな宿場を大切にしていくこと、大小それぞれの宿場の魅力を磨くことが今後は欠かせません。

県政報告 テーマ 5

善光寺街道を全国に誇る遺産に

和歌山県・三重県・奈良県などに連なる熊野古道をはじめ、日本各地には旧道や古道を軸に地域づくりを進めているところが複数あります。そうしたところでは観光客目線だけではなく、いかに地域住民の生きがいにつなげていくか、という視点がとられています。

また海外に目を向けてみると、例えばキリスト教の巡礼地界隈にはいつの時代でも変わらぬ賑わいがあります。巡礼者のみならず、地元の人も含めて様々な人が人生を謳歌しています。農場の横や林の間などを歩く土の道があったり、小さい丘や山を越える際のアップダウンのある道があったり。コースが長ければ長いほど、歩いてみたいと思う人が絶えません。

思えば善光寺は、日本仏教のルーツそのものであって、古より日本全国から人を集めてきました。それは今なお人々を魅了するものです。コロナによって現代的な生活様式が見直され、自然とともに生きる。歴史とともに生きる。という価値観がひととき重みを持ってきました。そんな今こそ、善光寺街道沿いの賑わいと、歩いて楽しめる里山づくりを、もう一度見つめ直す時ではないでしょうか。

すべての季節を通じて街頭でも「県政報告」やってます!



SNSでは毎日県政報告中!!



https://momose-tomoyuki.com

百瀬智之 検索

発行元：百瀬智之事務所